



うなぎの蒲焼き



2023年7月19日(水)
愛知県農業水産局水産課
資源・栽培グループ
担当 原田、深澤
内線 3791、3790
ダイヤル 052-954-6461

うし
土用の丑の日はもうすぐ！愛知県産「うなぎ」をPR
～知事がうなぎ料理を試食します～

愛知県は、2022年のうなぎ養殖生産量全国2位で、うなぎの養殖が盛んです。今年も、7月30日(日)の土用の丑の日に向け、順調にうなぎが生産されています。生産者は資源保護に取り組みながら、しらすうなぎ(うなぎの稚魚)を大切に育て、うなぎの持続的な生産と伝統的な食文化の継承に貢献できるよう努力しています。

土用の丑の日を前に、愛知県産うなぎのPRのため生産者団体の代表が知事を訪問し、愛知県産うなぎの魅力を紹介しますので、お知らせします。

1 日時及び場所

- 日時 2023年7月27日(木) 午前11時40分から正午まで
- 場所 愛知県本庁舎3階 特別会議室

2 訪問者(敬称略)

- 愛知県養鰻漁業者協会
会長 やまもと 山本 こうじ 浩二 (一色うなぎ漁業協同組合長)
副会長 はない 花井 あきひろ 章浩 (豊橋養鰻漁業協同組合長)
- 西尾市 産業部長 やまもと 山本 よしはる 吉明
- 豊橋市 産業部次長 たかはし 高橋 やすお 泰男

3 内容

- (1) 訪問者挨拶
- (2) 知事によるうなぎ料理(白焼き等)の試食
- (3) 歓談
- (4) 記念撮影



活きうなぎ

1 土用の丑とうなぎ

うなぎは栄養価が高く、疲労回復に効くビタミンA、B1、EやEPA（エイコサペンタエン酸）、DHA（ドコサヘキサエン酸）などが豊富に含まれている。

夏の土用の丑の日にうなぎを食べる習慣は、「丑の日に『う』の字が付く物を食べると夏負けしない」という言い伝えからヒントを得た平賀源内の発案により、江戸時代から広まったといわれている。今年の夏の「土用の丑」は、7月30日（日）である。

2 愛知県の養鰻業の現状

2022年の本県の養殖うなぎ生産量は、4,205トン（過去3年平均比90%）である。本県生産量は全国第2位となっており、全国シェアは22%である。本県では、西尾市、豊橋市などでうなぎ養殖業が営まれている。

2023年漁期における、5月末時点の池入れ^{*1}は、割当量^{*2}の76%にあたる3,819kgとなっている。

※1 池入れ：しらすうなぎを養殖池に入れること

※2 池入れ割当量：国により決められた、池入れすることができるしらすうなぎの総重量の上限

<2022年 養殖うなぎの生産上位県>

	県	生産量	全国シェア
1位	鹿児島県	7,858 トン	41%
2位	愛知県	4,205 トン	22%
3位	宮崎県	3,574 トン	19%
4位	静岡県	2,365 トン	12%
	全 国	19,155 トン	—

（出典：農林水産統計 第一報）

<養鰻業の経営体、生産量、産出額の推移>

年		2000	2017	2018	2019	2020	2021	2022
愛知県経営体数		203	134	133	127	125	125	120
生産量	全国 (トン)	24,118	20,979	15,111	17,071	16,806	20,573	19,155
	愛知 (トン)	8,317	5,780	3,459	4,357	4,315	5,288	4,205
	全国比 (%)	34	28	23	26	26	26	22
愛知県産出額 (億円)		83.9	192.0	153.3	189.3	169.8	194.0	—
単価 (円/kg)		1,009	3,321	4,432	4,344	3,934	3,669	—

（出典：生産量は農林水産統計、その他は水産課調べ）

3 県の養鰻振興策（水産試験場の取組）

国立研究開発法人 水産研究・教育機構[※]等と協力し、しらすうなぎを人工的に生産する技術の開発に取り組んできた。1991年には、ホルモン剤により人工的に雌にした親から採った卵のふ化に、世界で初めて成功している。近年は、人工種苗の生産に必要な水質が悪化しにくい餌の開発や、放流用雌うなぎの育成技術の開発等に取り組んでおり、2021年度には、一色うなぎ漁業協同組合（西尾市）等と共同で、ほとんどが身の固い雄に育つ養殖うなぎを、大きくても身の柔らかい雌に育てる技術の開発に成功した。

※ 国立研究開発法人 水産研究・教育機構：

神奈川県横浜市に本部がある水産分野における国の研究・教育機関

4 愛知県養鰻漁業者協会

(1) 組織

- ・設立：1972年9月
- ・会員数：113名（2023年4月）
 - 一色支部(主に一色うなぎ漁協)：93名
 - 東三河支部(主に豊橋養鰻漁協)：17名
 - 海部支部：3名
- ・会長：山本 浩二（一色うなぎ漁協組合長）
- ・事務局：愛知県漁業協同組合連合会
- ・所在地：名古屋市中区丸の内三丁目4番地31号
- ・電話：052-971-3501（ダイヤルイン）

(2) 事業内容

愛知県産うなぎの消費拡大のための啓発普及、資源増大のための親うなぎ放流、しらすうなぎの安定確保並びに流通の適正化を図るための調査、養鰻技術向上のための支援などを行っている。